

平成18年度の血漿分画製剤の需給状況(需給計画との比較)【速報値】

製剤名	換算規格・単位	製造・輸入量		③供給量	自給率(供給ベース)	
		①計	②うち国産原料		17年度	18年度
		上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画		
アルブミン	25%50ml(瓶)	3,558,600 (106.1%)	2,130,800 (114.2%)	3,285,800 (100.9%)	53.7%	56.8%
		3,353,100	1,866,500	3,255,500		
乾燥人フィブリノゲン	1g	3,300 (106.5%)	3,300 (106.5%)	2,800 (112.0%)	100.0%	100.0%
		3,100	3,100	2,500		
組織接着剤	接着面積(cm2)	10,624,400 (110.9%)	5,399,500 (127.0%)	10,253,900 (110.2%)	45.3%	49.6%
		9,581,500	4,250,000	9,308,100		
血液凝固第Ⅷ因子(遺伝子組換え型含む)	1000単位(瓶)	297,200 (87.5%)	121,700 (93.8%)	306,600 (93.2%)	39.3%	35.6%
		339,700	129,700	328,900		
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子(複合体含む)	1000単位(瓶)	46,500 (124.0%)	46,500 (124.0%)	38,400 (105.5%)	100.0%	100.0%
		37,500	37,500	36,400		
インヒビター製剤	延べ人数(人)	13,200 (107.3%)	0	13,400 (134.0%)	0.0%	0.0%
		12,300	0	10,000		
ヒト血漿由来乾燥血液凝固第ⅩⅢ因子	(瓶)	108,400 (67.6%)	0	125,700 (91.6%)	0.0%	0.0%
		160,400	0	137,300		
トロンピン(人由来)	10000単位(瓶)	34,000 (114.9%)	34,000 (114.9%)	44,300 (148.7%)	100.0%	100.0%
		29,600	29,600	29,800		
人免疫グロブリン	2.5g瓶(瓶)	1,494,900 (100.3%)	1,398,400 (102.8%)	1,408,000 (107.0%)	88.6%	91.2%
		1,490,800	1,359,900	1,315,400		
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位(瓶)	19,500 (89.4%)	600 (100.0%)	19,000 (80.2%)	2.6%	2.2%
		21,800	600	23,700		
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍	8,700 (124.3%)	0	9,100 (101.1%)	0.0%	0.0%
		7,000	0	9,000		
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位(瓶)	98,200 (86.3%)	0	71,400 (94.9%)	0.0%	0.0%
		113,800	0	75,200		
乾燥濃縮人アンチトロンピンⅢ	500単位(瓶)	418,800 (123.0%)	391,700 (119.2%)	388,600 (100.2%)	94.9%	96.3%
		340,600	328,600	387,800		
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位(瓶)	640 (213.3%)	640 (213.3%)	230 (76.7%)	100.0%	100.0%
		300	300	300		
人ハプトグロビン	2000単位(瓶)	44,700 (108.5%)	44,700 (108.5%)	41,200 (93.8%)	46.7%	100.0%
		41,200	41,200	43,900		
乾燥濃縮人C1-インアクチベーター	500倍(瓶)	340	0	540 (85.7%)	0.0%	0.0%
		0	0	630		

注1. 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位に換算したうえ、四捨五入により100又は10の整数倍で表示した。

注2. 液状タイプの組織接着剤については、接着・閉鎖部位の面積当たりの使用量を勘案して換算し、インヒビター製剤については、体重50kgの人への投与量を標準として人数で算出した。